

報道関係者各位

2019年6月6日(木)

<開催レポート> トンコハウス映画祭 デジタルハリウッド生のための特別上映会 堤大介監督から受け取った クリエイターを目指すうえで大切にしたいこと

IT関連及びデジタルコンテンツの人材育成スクール[デジタルハリウッド]（運営会社：デジタルハリウッド株式会社、本社/本校：東京都千代田区、代表取締役社長兼 CEO：吉村毅、学長：杉山知之）は、このたび EJ アニメシアター新宿にて行われたトンコハウス映画祭（2019年4月27日(土)～2019年5月26日(日)開催）において、デジタルハリウッド生のための特別上映会を実施いたしました。



元ピクサーのアートディレクターが立ち上げたアニメーションスタジオ「トンコハウス」が掲げた“世界のアニメーションと出会う”といったコンセプトをもとに、古今東西の名作アニメーション作品が上映されたり、堤大介監督によるクリエイターを目指す受講生に対する特別トークイベントは、クリエイターを目指すデジタルハリウッドの受講生にも多大なる刺激を与えてくれました。

今回の特別上映会の様子と、一部学生を特別招待いただいたワークショップ『「ピクサーのお話づくりを学ぶ」by ローニー・デル・カルメン&堤大介』の様子をお伝えいたします。

トンコハウス映画祭デジタルハリウッド生のための特別上映会

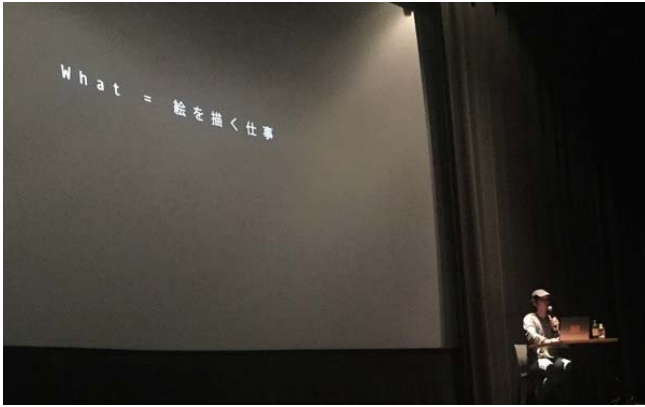
世界のアニメーションと出会う トンコハウス映画祭

ヒストリカル・アニメーション

デジタルハリウッド生に向けた上映は“インスピレーション”と題したトンコハウスがはじまるきっかけとなった名作たちをラインナップしたプログラム。『レッドタートル ある島の物語』の監督でも知られるマイケル・デュドク・ドゥ・ヴィット監督による『父と娘』、ピクサーのベテランデザイナー、ラルフ・エグルストンが監督・脚本を担当した短編『フォー・ザ・バース』、カナダの巨匠フレデリック・バックによるフランスの短編小説を元にした歴史的な名作『木を植えた男』、『アイス・エイジ』や『ロボッツ』の監督クリス・ウェッジによる『バニー』といったアカデミー賞を受賞した4作品に加え、2015年アカデミー賞ノミネートされ、トンコハウスの基盤となったトンコハウス初作品『ダム・キーパー』の5作品が上映されました。



壮大なテーマや繊細な心の動きに心打たれるもの、アニメーションの手法が秀逸なもの、アナログも、3DCGも様々な手法でそれぞれの良さを出しながら描かれた傑作たちは、見るだけで制作意欲が掻き立てられるものでした。



上映後には、堤大介監督自らクリエイターを目指す受講生に監督自身の経験を交えて語っていただきました。やりたいことが分からなくなってしまった10代の頃の話から、絵を描くことに会うまで、そしてピクサーで働くまで、さらに自身が何のために絵を描くのかを自身で自覚し、トンコハウスを立ち上げるに至るまで…自分にとってのやりたいこと＝「What」、そして何のためにやるのか＝「Why」、その二つを大事にし、今も邁進する監督の言葉一つ一つに、受講生

も自分と向き合うきっかけを得たようです。

「ピクサーのお話づくりを学ぶ」by ローニー・デル・カルメン&堤大介

今回、特別上映会に加えて『インサイド・ヘッド』の助監督をつとめ、脚本家としてアカデミー賞にノミネートされたローニー・デル・カルメンによるお話づくりの講座「ピクサーのお話づくりを学ぶ」にご招待いただき、本科CGビジュアルアーティスト専攻(2020年度は本科デジタルアーティスト専攻として開講)の授業の一環として受講生も参加しました。



“国内外を問わず、見る人に大きな感動と体験を届けるアーティストを目指す”をテーマとしたこの専攻の受講生たちにとって、ローニー監督と堤監督によるストーリーの作り方は大変心打たれる授業であり、今後の作品作りに生きてくるものとなったようです。受講生から寄せられた感想の一部を紹介いたします。

授業参加者の感想：

・素晴らしいお話でした。カールじいさんとローニーさんのお父さんの部分では涙が出ました。自分の経験をもとに、シンプルにフィーリングで伝えられるストーリー作りを心がけたいです。3時間があっという間で、もっとお話を聞きたかったです。このような機会をいただきありがとうございました。(受講生 Hさん/25歳)

・見ている世界が変わりました

これから自分で描くストーリーがもっと素晴らしいものになりそうです！(受講生 Iさん/23歳)

・ストーリーをつくる上で、自分自身のストーリーを投影したり、自分が心踊ることをつくったりということが何よりも大事で、そこに莫大な時間と情熱を注ぐことで初めて、ピクサーの感動的なストーリーが出来上がるのだと感じました。そして、失敗を恐れずに何度も何度も書き直すということ。今回仰っていたことは自分でもすぐにできることなので、すぐにトライして、自分の糧にしようと思います。(受講生 Mさん/23歳)



●トンコハウスについて

<http://www.tonkohouse.com/jp/>

ピクサーのアートディレクターだった堤大介とロバート・コンドウの2人が、アメリカで設立したアニメーションスタジオ「トンコハウス」。初監督作品『ダム・キーパー』は、世界各地の映画祭にて20以上の賞を受賞。2015年アカデミー賞短編アニメーション部門にもノミネートされるなど、一大センセーションを巻き起こしました。3月29日にKADOKAWAから出版された絵本『ダム・キーパー』など活動の幅は広く、今世界で最も注目を浴びているスタジオのひとつです。

●デジタルハリウッド(専門スクール)について

<https://school.dhw.co.jp/>

1994年10月、デジタルハリウッド株式会社の設立と同時に東京・御茶ノ水に開校。社会人向け専門スクールでは主に社会人を対象に、Web・デザイン・3DCG・CG・映像・グラフィック等のプロを養成し、各産業界への就転職や独立を目指す通学の専門スクールです。

デジタルハリウッド東京本校では、世界に通用する”本物の力”を身につけるフラッグシップの本科コース(週4日全日制/週2日)を展開しております。

【本科デジタルアーティスト専攻<全日/選抜制>】

『生命感を感じるキャラクター』『躍動感あるアニメーション』『世界共通の感情を揺さぶるストーリー』そして「世界を魅了する映像表現」を手にし、世界共通の感動を創造するアーティストを目指します。

「世界を舞台に活躍したい」「コンテスト入賞を果たしたい」などの強い夢をお持ちの方へ向けた全日選抜制です。

開講時期 : 2020年4月

期間・曜日 : 1年間 [全日4日制]

対象者 : クリエイティブ経験者。3DCG・映像業界への就業をしたい方。

国内外を問わずアーティストとして活躍したい方。

本科デジタルアーティスト専攻 特設サイト

>><https://school.dhw.co.jp/course/da/>

【本科 CG/VFX 専攻】

3DCG、VFX、あらゆる映像制作に必要な技術を 1 年かけて基礎から応用まで幅広く学ぶカリキュラムです。その制作に必要な技術を、オリジナル作品制作を通じて実務レベルまで引き上げます。週末を中心に通えるクラスです。

開講時期 : 2019 年 9 月 / 2020 年 4 月

期間・曜日:1 年間 [平日 2 日]または[週末 1 日+平日夜 1 日]

対象者:未経験から入学可。3DCG・映像業界への就業をしたい方。

本科 CG/VFX 専攻 特設サイト

>> <https://school.dhw.co.jp/p/cgvfx-lp/1708dhw/>



【当プレスリリースに関するお問い合わせ】

デジタルハリウッド株式会社 広報室:川村

mail:press@dhw.co.jp

TEL:03-5289-9241

デジタルハリウッド公式サイト :<https://www.dhw.co.jp/>

学長ブログ「スギヤマスタイル」:<https://www.facebook.com/SugiyamaStyle>

過去のプレスリリース:<https://www.dhw.co.jp/pr/release/>